

第1号報告

平成29年度 事業計画

1. 通常総会

平成29年5月26日（金）アルカディア市ヶ谷において、第58回通常総会を開催する。

2. 理事会

理事会は原則として年6回以上開催する。

3. 委員会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会
- ・ PC工学会賞選考委員会
- ・ 公募研究課題選定委員会
- ・ PCアーカイブス委員会

4. 調査研究事業

(1) 規準作成

1) PC技術規準委員会

本委員会を2回開催する予定である。規準改訂小委員会において、「コンクリート構造設計施工規準－性能創造型設計－」（2011年9月）の改訂作業を中心に活動する。

PC橋の維持管理マニュアル作成委員会においては、PC橋の維持管理に関する具体的な手法を明らかにしたマニュアルを平成29年度中に策定することを目指して、委員会2回、幹事会6回を開催する予定である。

2) PC鋼材委員会

工場加工型防食PC鋼材について、種類別にポイントや適用の注意点、事例など資料のとりまとめを行う。また、PCケーブルに関する耐久性向上の取組み、および維持管理方

法などの現状と課題に関する討議を行う。さらに、*fib* commission 5 に参画し、国際規準作りに国内意見の反映を図る。その他、会誌「プレストレストコンクリート」に『講座：知っておきたいPC材料』への投稿を予定する。

(2) 公募研究

公募研究課題選定委員会が新たな研究課題の公募を募り、審査して設立を許可している。

1) 大規模自然災害に対応可能なPC構造に関する研究委員会

昨年度で委員会はほぼ終了したが、その委員会成果報告書をまとめる予定である。

2) PC複合津波防災構造委員会

新たに公募した委員会である。本研究では津波防災堤防の築堤構造について研究し、プレストレスト技術によるPC複合築堤構造とすることにより、防災、社会の持続性に貢献することを目的とする研究委員会である。委員会活動は3年間を予定する。

(3) 受託研究

[更新用プレキャストPC床版技術検討委員会（その2）]

実際の鋼橋床版更新工事に際して、「更新用プレキャストPC床版技術指針」を補完する具体的なプロセスを盛り込んだ「更新用プレキャストPC床版設計施工要領」を策定することを目的に委員会を2回、幹事会を5回、現場見学会を1回開催する予定である。

(4) 特別研究

[PCサステナビリティ委員会]

平成28年度末に取りまとめた宣言文を第58回通常総会において公表し、さらにホームページに掲載し、広報活動と継続的評価および見直しを行っていく。

(5) PCアーカイブス委員会の設置

わが国にPC技術が導入され60数年が経つ現在、過去の貴重な資料をアーカイブズとして収集整理して保存していくことはPC技術の継承の観点から極めて重要である。常設委員会として準備期間を経て関係機関、関係企業と連携して活動を行っていく。

(6) 国際活動

1) *fib* 関連活動

総会、理事会、最高幹部会および各研究委員会に参加して、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画する。

2) *fib* シンポジウム

次のシンポジウムは、平成29年6月12日～14日、オランダのマーストリヒトで開催され、本工学会員の参加と情報発信に努める。

3) その他の国際対応

「PC工学会の国際化を進めるための企画・提言を行うこと、ならびに日本のPC技術を海外へ情報発信すること」を目的に以下の活動を行う。

- ① 本工学会英語版ホームページの更新
- ② 海外学協会との連携についての検討
- ③ 日本のPC技術の海外普及策等についての検討
 - ・規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討
 - ・PCシンポジウムの国際化についての検討
- ④ *fib* Commission 1, 5, 10に参加
- ⑤ ベトナムITSTとのワークショップ開催の計画
(平成29年9月18日の週にダナンにおいて開催を調整中)
- ⑥ ミャンマーとの技術交流の検討
- ⑦ PCシンポジウムの海外からの特別講演者招聘計画および対応
- ⑧ PC技術講習会テキストの作成および講習会講師

(7) 会誌等発刊

1) 会誌

会誌は会員の投稿による一般号および特定課題による特集号とし、会誌編集委員会にて企画・編集を行い年6回発刊する。特集号は、59巻2号「高速道路橋の大規模更新・修繕」、59巻4号「建築特集」、59巻6号「PC構造物と産業副産物の有効活用」とする。

2) ナショナルレポート

2018年10月にオーストラリアのメルボルンで開催される第5回 *fib* コングレスに向けて刊行する「ナショナルレポート」を公益社団法人日本コンクリート工学会と共同で制作するため、ナショナルレポート編集委員会の活動を開始する。

5. 講習会等事業

(1) 技術講習会

[PC技術講習会]

第45回PC技術講習会は、「生産性向上と維持管理・更新の時代に求められるPC技術」をテーマとし、平成29年6月2日（金）東京：江東区文化センターを皮切りに、同8日（木）大阪：朝日生命ホール、同13日（火）高松：ホテルパールガーデン、同14日（水）広島：広島市西区民文化センター、同16日（金）札幌：ホテル札幌ガーデンパレス、同21日（水）名古屋：ウインクあいち、同23日（金）新潟：新潟県自治会館講堂、同27日（火）福岡：福岡国際会議場、同30日（金）仙台：イズミティ21、の9会場において開催する。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第26回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、平成29年10月26日（木）・27日（金）の2日間にわたり、神戸ファッションマート（兵庫県神戸市）において開催する。実行委員会幹事会および各WGはシンポジウム開催の準備、運営を行う。

その後、第27回シンポジウムは「ひめぎんホール」（愛媛県松山市）にて平成30年11月8日（木）・9日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。また、実行委員会では平成31年の開催地の決定および平成32年の開催候補地を選定する。

(3) 研修セミナー

[高強度鉄筋緊張P R C構造の設計指針セミナー]

高強度鉄筋緊張P R Cの研究と設計指針の作成委員会が平成28年度末に策定した「高強度鉄筋緊張P R C構造の設計指針・同解説（案）」の講習会を東京、大阪において開催する予定である。

6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

P C技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を平成29年9月4日（月）にアルカディア市ヶ谷において開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を平成29年10月15日（日）に東京：ベルサール飯田橋駅前、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録、ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また、登録失効者に対しては、講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニングの導入）

コンクリート構造診断士試験に先立ち、受験資格として受講が義務付けられているコンクリート構造診断技術講習をこれまでの全国3会場（東京、大阪、福岡）での講習会形式からweb上でのeラーニング講習に変更した。eラーニングでの講習期間は3月1日から6月30日である。受験資格としての必要な講習終了は願書提出期限の5月30日までとする。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を平成29年7月9日（日）東京：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者の登録および講習会受講者の申請によりコンクリート構造診断士補の登録を行う。今年度は、平成25年度（2013年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修として研修報告書の提出を義務付ける。

7. プレストレストコンクリート工学会賞授与事業

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて、論文部門、作品部門、技術開発部門および施工技術部門の授賞候補を選考し、通常総会にて授与する。